

▶▶ 中小企業の未来を創造する信頼のパートナー

アクセス埼玉

ACCESS SAITAMA

10

2024.October
No.331



ウナテック株式会社の長島由佳社長

特集

企業不祥事報道から何を学ぶべきか

～中小企業経営者が押さえるべき不祥事発生ポイント～

インタビュー

小ロット、多品種、短納期が強みの会社

ウナテック株式会社

特集	1
企業不祥事報道から何を学ぶべきか ～中小企業経営者が押さえるべき不祥事発生ポイント～	
特集見たらプラスワン！	7
埼玉県産業振興公社「コンプライアンス研修（応用編）」申込み受付中	
インタビュー	8
ウナテック株式会社 代表取締役社長 長島 由佳 氏 小ロット、多品種、短納期が強みの会社	
わが社のワンポイントPR 公社会員紹介	10
(株)東部アシード (株)ハヤカワフォーシング (株)日さく 梅田真空包装(株) 日本メルセン(株) (株)オートテックジャパン	
企業紹介	12
(株)ムサシノエンジニアリング (さいたま市)	
改めて振り返るデジタル技術	13
第7回 OSって？ Windowsはそもそも何のためにある？	
改善っておもしろい！	14
第7回 昨日の敵は今日のアイデア	
サーキュラーエコノミー便り	15
「もったいない」を見ては「サーキュラーエコノミー（CE）」を思う	
これだけは知りたい！ 税金の知識Q&A	16
交際費等の損金不算入制度の見直し	
トピックス	17
中小企業のデジタル化・DX推進事例3選	
information	18
○会員優待セミナー「すぐに使える！企業の成長につなげる人材育成の進め方」 ○会員優待セミナー「資本性劣後ローンの紹介と融資時に銀行が着目する決算書のポイント解説」 ○「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」	
創業者紹介 埼玉で起業した人・ひと・ひと	19
(株)彩令 (さいれい聖苑) 鈴木 由美子さん	
埼玉の造り手	20
Vol.37 清龍酒造(株)	

今月の表紙



ウナテック株式会社

広告

埼玉県信用保証協会

皆さまの資金繰りや事業のお悩みの解決をサポートします



埼玉県信用保証協会

当協会ホームページをご覧ください

埼玉県信用保証協会

検索



令和5年度 シルバー派遣契約額全国1位!

活かせ! シニアの

1

知識や経験
を活かします

2

短期間
短時間
に対応します

3

責任感が強く
真面目です

4

シニア共働で
イメージ
アップ

5

採用コストを
削減
できます

シルバー人材派遣5つのおすすめポイント

※派遣法で禁止されている業務及び、高齢者にとって危険・有害な作業については派遣することはできません。



公益財団法人 いきいき埼玉
(埼玉県シルバー人材センター連合)

〒362-0812 伊奈町内宿6-26 県民活動総合センター内

TEL 048-728-7841 FAX 048-728-2130



お問い合わせは
所在市町村の
シルバー人材センターへ



企業不祥事報道から何を学ぶべきか ～中小企業経営者が押さえるべき不祥事発生ポイント～

株式会社スタジオ02
代表取締役 大関暁夫

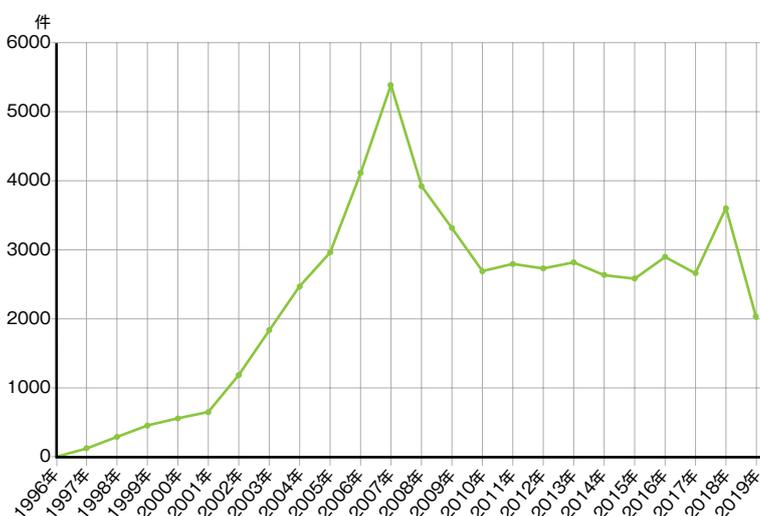
毎年、産業界では企業不祥事と呼ばれる事件報道が後を絶ちません。近年だけでも大きなニュースとして、三菱電機、ビッグモーター、トヨタ自動車およびグループ各社などの不祥事が報じられています。中堅・中小企業経営者は、これらを単に大手企業が引き起こした人ごととして聞き流すべきではありません。自社にとっても起きうる身近な教訓としてしっかりとその原因を理解し、他山の石とするべきなのです。各不祥事の第三者による調査報告をひも解きつつ、中堅・中小企業経営者がこれら不祥事から何を学び、自社で何を確認し、いかに改善すべきなのか、といった視点で解説いたします。

企業不祥事報道と経営者の心得

わが国における企業不祥事の定義は、1990年代後半に大きく変わりました。東京市場の国際化に伴い、企業経営におけるグ

ローバルスタンダードという考え方と同時に、国内に入ってきたコンプライアンスという概念が浸透し、企業経営者には抜本的な意識改革が求められるようになりました。それに伴い、新たな倫理基準となったコンプライアンスに違反する事例が、「企業不祥事」として報じられる機会が増えたの

図表1 新聞記事へのコンプライアンス登場回数の推移



出典 ジー・サーチ <https://www.g-search.jp>

です。そして、そのたびごとに当事者に対して経営姿勢の是正が求められ、同時に世の経営者に対して同様の不祥事再発に対する警鐘が鳴らされることになりました。企業内のセクシュアルハラスメント行為やパワーハラスメント行為など、昭和の高度成長期には一切とがめられることのなかった事象が、今や誰もが職場における問題行動として認識するようになったことなどは、その具体的事例といえます。

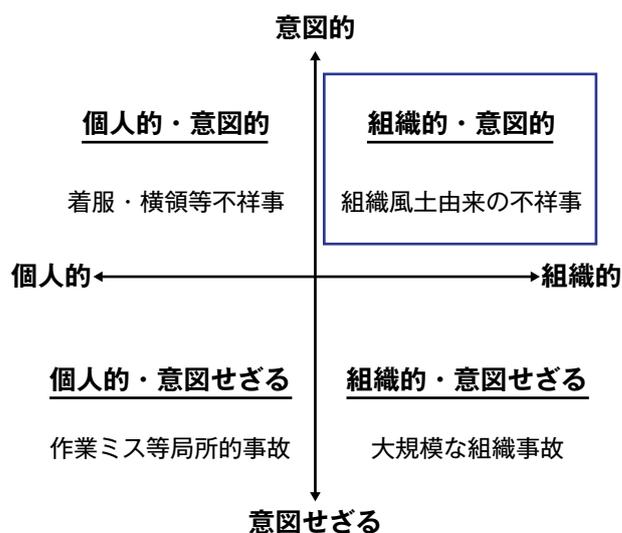
しかし、中堅・中小企業の経営者が、毎度大きく報道される企業不祥事を、果たして自分事として捉えているのでしょうか。筆者が多くの経営者とお付き合いする中での肌感では、その意識は欠けていると感じています。その理由の一つは、自社とは比較にならない大きな企業の話であり、自社に置き換えることができているからでしょう。

いまひとつは、たとえ自社で同じような不祥事が起きたとしても、規模の違いから誰も関心など示さないだろうから問題ない、とタカをくくっているということもあるのではないのでしょうか。

中堅・中小企業経営者の皆さんに一つ覚えておいてもらいたいことは、今の時代に昔と変わったのは決してコンプライアンスという倫理基準だけではない、ということです。一番大きなことは、インターネットの発達とスマートフォンの普及によって、誰もが社会に対して情報の発信者になれるという状況の変化です。この変化により、報道される企業不祥事の大半は、内部の関係者からの情報発信がキッカケとなっているのです。

SNS等で不祥事が明らかになれば、その内容によってはたとえ中堅・中小企業でも、大きな社会問題として「炎上」することも大いに考えられます。仮に「炎上」しなかったとしても、取引先の目に入った場合には取引関係が解消されてしまうというリスクもはらんでいるでしょう。転職サイトなどには、退職した社員が匿名で会社の実態を暴露するというようなケースも間々あり、漏れないと思った社内事情や隠ぺいしたはずのコンプ

図表2 不祥事のマトリクス



「組織不祥事～組織文化論による分析」 間嶋崇を参考に筆者作成

ライアンス違反事象が公になってしまうということもあるのです。すなわち今の時代は、不祥事に関するリスクに関しては大手企業と中堅・中小企業に大きな差はなく、大手企業で起きている不祥事であっても巷の話題として聞き流すのではなく、自分事として自社を顧みる機会とすることが大切なのです。本題に入る前に、あえてこの点を強調させていただきます。

企業不祥事の4分類

企業不祥事は「個人的か、組織的か」「意図的なものか、意図せざるものか」を判断軸として、4分類にすることが可能です(図表2)。「個人的だが意図せざる」ものは、スタッフ個人の作業ミス等によって起きる事故の類いです。これに関しては、作業手順の周知や点検等の励行などによって防止を図るのが肝要といえます。「個人的かつ意図的」なもの、社員個人の悪意によるものであり、着服や横領等の不祥事がこれに当たります。金額の多寡を問わなければ最も件数が多いものがこれです。社内で日常的なチェック機能を整備し相互牽制を働かせ、悪意を起こさせないことが最大の防止策になります。管理にスキが多ければ出来心

は生まれやすくなるわけで、「悪いことはできない」という意識を定着させるような管理の徹底が重要です。

このように「個人的」に属する不祥事は、自社、他社を問わず過去の事件事例対応を参考にして、予防療法的な対策が可能なのです。しかし「組織的」に分類される不祥事は、少し厄介です。「組織的」とは、すなわち組織風土に起因して発生するということであり、組織風土を変えない限りその予防や再発防止が著しく困難であるからです。ちなみに組織風土とは、「組織や職場集団を全体として包み込むような環境(桑田耕太郎・田尾雅夫1998「組織論(有斐閣アルマ)」)」とあり、「それは次第に個々のメンバーに共通するような枠組みを提示することとなり、それぞれの判断や行動に影響を及ぼすこととなる」と、組織論において定義されています。組織風土は組織の中で醸成された固有のムードであり、善きにつけあしきにつけ、その組織に属する者の判断や行動の基準になっていくものであるのです。

「組織的だが意図せざる」不祥事とは、この組織風土が作り出す社内の負のムードに流されることで過失が発生し、事故につながるなどのケースを指します。一方、「組織的かつ意図的」不祥事とは、組織風土が作り出す社内のムードによって、法令違反行動など本来は道義的にやってはいけないことを、それと知りながらもやってしまうケースを指しています。すなわち前者は事故に属する不祥事ですが、後者は企業が悪意を持って道德違反などを行うことであり、社会的により大きな非難を受ける可能性が高く、社会通念上からも最も起こしてはいけない不祥事なのです。近年、企業不祥事として大きく報道されるものの多くがこれに当たり、経営者が気付かぬうちに社員が不祥事に手を染めている事象が多いのが特徴でもあります。従って、このケースこそ、企業経営者が最も注意を払うべきものといえるでしょう。

ではその不祥事につながるような組織風土は、

どのような過程を経て生まれてくるのでしょうか。一つは経営トップの強権経営によって、それにモノを言えない社員たちがやむなく不正に手を染めてしまうケースです。絶対的な力を持つオーナー系組織が圧倒的に多い中堅・中小企業においては、最も注意すべきケースと言えます。もう一つ、経営トップの強権経営ではない組織でありながら、古い常識や固定観念から無言のうちに組織の力学が働き、社員が不正に走ってしまうケースもあります。どちらも気が付いた時には取り返しがつかない状況になっていることが多く、日常的な注意が必要なのです。それぞれのケースについて、近年話題になった企業不祥事の第三者による調査委員会の報告書を検証しつつ、中堅・中小企業経営における未然防止のヒントを探ってみます。

オーナー企業の危うさを教えるビッグモーター

昨年大きな話題となった中古車販売大手ビッグモーターの不祥事は、経営トップの強権経営による典型的な「組織的かつ意図的」不祥事でした。損害保険代理店でもあった同社は、修理目的で顧客から預かった車を意図的に傷付けるなどして不正な保険請求を繰り返し、手数料収入を稼いでいたのです。調査委員会のヒアリングに対して不正作業に関わった半数以上の者が、「上司(工場長)からの指示」によると答え、半数弱の者は「上司からの不正な指示に逆らえない雰囲気があった」と答えたといいました。さらに直接指示を出した上司である工場長は、経営幹部から無理な目標設定に対する強いプレッシャーを受けていたのです。

プレッシャーの大本は、創業一族の副社長でした。目標を達成できない、あるいは経営の方針に従わなければ、即刻大幅な減給を伴う降格、遠方への異動などの一方的な懲罰人事が行われており、特別調査委員会の報告書では「不条理な上命下服を強いる企業風土が、一連の不適切な保険金請求の発生原因となった」と結論付けています。ここで注目すべきは、ビッグモーターの社員たちが、

上司の命令とはいえ法令に反するような行動を、なぜ拒絶することなく従ってしまったのかです。報告書はこの点にも言及しています。

「(部下に) 弁明の機会を与えず、また降格理由についての明確な説明もないままに、経営陣の判断一つで、ある日突然降格処分が下されるような異常な人事が常態化」していたとあり、また「降格処分は、(中略) 処分者およびその家族に与える影響は極めて大きい。工場従業員らが、かような降格処分の対象となることを免れるために、(中略) 間違っても経営陣の意向に表立って異を唱えることなどしない姿勢となっていた」といいます。すなわち社員たちは、会社からの法令や社会正義に反する命令に対しても反論や拒否が一切できない状況下で、解雇や降格、左遷といった処置から自身を守るために不正を働くことでの目標達成に専心させられていたのです。

ガバナンスが働いている正常な組織であれば、管理職が繰り返し部下にコンプライアンス違反の業務命令をしていたなら、少なくとも取締役の誰かの耳に入り、取締役会で問題視され早期に是正に動くはずですが。しかし、ビッグモーターの場合には全権を社長および副社長のオーナー家親子が握り、取締役会すら開かれていなかったことが報告されています。オーナー家の独裁的な強さが、社内の自浄作用までも奪ってガバナンス不全に陥れてしまい、組織は歯止めを失って企業ぐるみでの法令違反が横行する状況に至ったといえるのです。ビッグモーターのように企業経営をするオーナー家が100%の株を握り企業の所有と経営が分離していないことは、ややもすればコンプライアンスをも無視する、行き過ぎた上意下達の組織風土を作り上げてしまうリスクがあると、報告書はわれわれに示唆しています。そうならないために必要なことは、経営を暴走させない仕組みづくりです。

大半の中堅・中小企業は、経営者一族が株式の過半から大部分を持つ同族経営です。同族経営そ

のものが悪い、ということではありません。しかし、その立場の強さから自己の考えを強く押し出すあまり、暴走気味に理不尽な命令になることもあるのではないのでしょうか。ビッグモーターのケースでは、ワンマンな同族経営者が収益を追求するあまり部下にコンプライアンス違反を強いてしまっているわけで、経営に対する相互牽制が働いていたならば、これほどまでに大きな不祥事には至らなかったはずなのです。

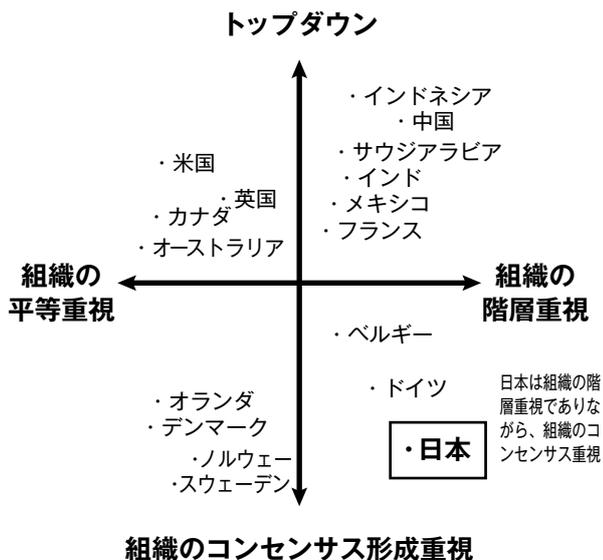
そう考えると中小企業でも、経営者が日常的に自身の襟を正すとともに、経営の監視役として外部から取締役または監査役を経営陣に加え、定期的に取り締役会を開催することが理想ではあります。それが難しいのであれば、少なくとも全権を社長が握らず、権限移譲による分権管理をすることで、社長一元管理ではなく相互牽制が働く管理体制にすることが肝要です。

社歴ある企業は日本的組織文化に注意

企業不祥事の発生は、同族系企業などにおけるワンマントップの強権経営ばかりが理由ではありません。日野自動車、ダイハツ工業、豊田自動織機、そしてトヨタ自動車…、2020年以降続々発覚したトヨタグループ企業における認証検査不正に絡む不祥事は、どれも強権経営ではなく分権管理が行き届いた組織統制の下で発生しています。これらはワンマントップの存在によらない、組織風土的な不祥事の発生であるといえます。既に第三者による調査報告がされている日野自動車およびダイハツ工業でも共通して、その原因は組織風土の問題であるとされているのです。

両社の報告書で指摘された問題点を集約すると、トヨタに対してモノが言えない本社、本社に対してモノが言えない現場、という構図が浮き彫りになっています。先のビッグモーターとの違いは、上位階層の者がその地位を利用して有言、無言の圧力をかけて暗黙のうちに不正に追い込んでいった、という因果関係が存在しないことです。であ

図表3 各国の組織文化特性マトリクス



「異文化理解力(The Culture Map)/ エリン・メイヤー」を参考に筆者作成

りながら日野自動車の報告書では、「上意下達の気風が強すぎる」組織特性の下で現場が窮屈な開発スケジュールに無言で従わざるを得ない風土が醸成され、検査部門が不正に手を染め続けたとの記載があります。ダイハツ工業の報告書でも、2000年代半ばにトヨタ出身の会長の下で開発納期の大幅な短縮が実施され、その流れはトヨタの完全子会社となった2016年以降さらに強まって現場を圧迫し、それにモノが言えぬまま不正に走らざるを得なかったとされています。これらの記載から読み取るべきものは、「上意下達」「本社>現場」という無言の序列維持を暗黙のルールとしてきてしまった、昭和由来の日本的組織文化なのです。

日本の組織的文化特性については、世界の組織文化研究の第一人者で世界各国においてMBAグローバルスクールを運営するINSEAD(フランス)のエリン・メイヤー教授が、著作「The Culture Map」の中で詳しく分析しています。メイヤー教授によると、日本人が作り上げる組織文化は、極端に「階層重視かつコンセンサス重視」という位置にプロットされるといいます(図表3)。その大きな特徴として、「無言のうちに人の行動を支配する傾向」を挙げており、目に見えない力が働いて地位が下

の者から上に対してモノを言わせない風土を作り上げていることを示唆しています。すなわち、現場が本社の指示に対してモノが言えない、あるいは子会社が親会社の指示に対して無言で従わざるを得ない、先の報告書にあるトヨタグループ企業の組織風土は、メイヤー教授が指摘する日本の特徴的組織文化によって形づくられたかと思えるのです。

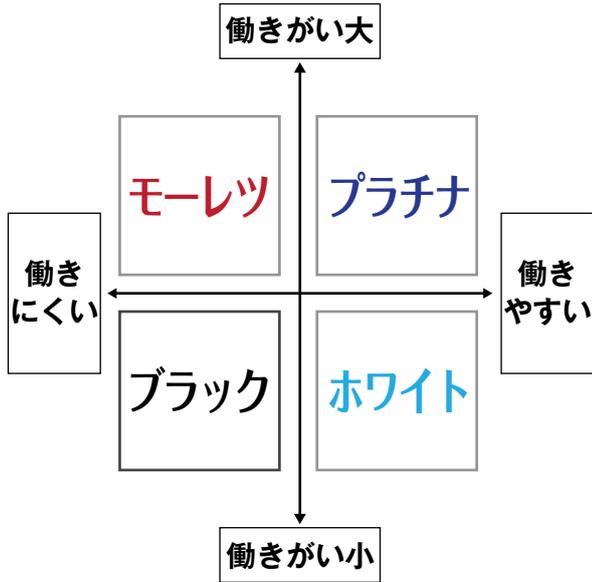
このような日本的な組織文化は、中堅・中小企業でも同じことがいえます。一つは、管理部門である本社と現場である支店・営業所などから構成されている企業の場合、「本社>現場」の意識が無意識に醸成され、現場は本社が思っている以上にモノが言いにくい環境にあるのです。本社から現場に対する指示・命令ばかりの、一方向的なコミュニケーションが多い場合は特に要注意です。「物が言えない⇒悪い報告をしたくない⇒トラブルやミスを隠す⇒不祥事が発生する」という負の連鎖が生まれやすい状況にあるといえます。

もう一つは、取引先との主従関係です。先の親会社と子会社の関係と同じく、中小企業が自社よりも大きな企業、特に大手企業からの発注を受けている場合、無理な状況を無理と言えない、問題が発生したことを正直に報告できない、などの状況が生まれやすくなります。事実を報告したら仕事が切られてしまうかもしれない、という恐怖心からの保身が働きやすいからです。無理やごまかしは、不祥事につながります。正直に言うべきことを言って、一緒に解決することが健全で長い取引につながることを理解してほしいところです。昭和を生き抜いてきた企業ほど、日本的な組織文化が染みついていることが多く、要注意なのです。

不祥事なき成長は「働きやすさ」実現がカギ

日本経済新聞ではトヨタ自動車の検査不正発覚と相前後して、今の時代に健全な成長を続ける「プラチナ」企業とは何かについて取り上げています(日本経済新聞2024年5月7日「プラチナになれ

図表4 「働きがい」と「働きやすさ」の二軸からのマトリクス



日本経済新聞記事を参考に筆者作成

ますか)。そこでは、上場企業2,300社の口コミサイトにある社員らの投稿をAIで分析し、働き方改革の伸展に注目が集まる現在において、「働きがい」と「働きやすさ」の二軸から今の時代に成長している企業を検証した結果が報告されています。この二軸の指標で分けられたマトリクスで、企業は4分類されます(図表4)。「働きがいがあり、かつ働きやすい=プラチナ」「働きがい小さいが、働きやすい=ホワイト」「働きがいがあるが、働きにくい=モーレツ」、そして「働きがいがなく、かつ働きにくい=ブラック」です。

「働きがい」という考え方は昭和の高度成長時代からあったものの、「働きやすさ」という考え方は近年の「働き方改革」以降クローズアップされてきた新しい考え方です。幸福学の観点から考える経営を研究テーマとしている前野隆司慶応大学教授は、高度成長期の日本を支えてきた大手企業たちは典型的な「働きがいがあるが、働きにくい=モーレツ」企業であると評しています。先の不祥事を起こした企業たちもまた、これに当たるといえるでしょう。そして大企業だけでなく、昭和の経済成長を支えてきた彼らと直接的、間接的に仕事をしてきた中堅・中小企業の経営者たちは皆、

この「働きやすさ」という新しい考え方になじみが薄く、欠落要因になりやすいのです。

先の不祥事を起こした企業の共通点は、経営者や上司に対して、本社に対して、親会社に対して、自分の意見が言いにくいという職務環境でした。となれば、「働きやすさ」を実現し不祥事を未然に防止するカギを握っているのは、経営者や上司に対して、本社に対して、あるいは親会社に対して、「モノが言えるか否か」ということになるでしょう。「強い社長」「強い本社」「強い親会社」になりすぎないことが、社員から忌憚のない意見が出される「働きやすさ」につながる。それが、不祥事発生リスクが小さく健全な成長できる企業になるカギを握っている、ということなのです。

「誰もが思っていることが言える職場づくり」という観点から今注目を集めているのが、「心理的安全性向上」という視点です。心理的安全性とは、「組織やチームに向けて、率直な意見、素朴な質問、違和感の指摘がいつでも、誰でも気兼ねなく言える状態のこと」で、この知見を世界に広めたのは米国の大手ネット企業Googleです。Googleは自社の急成長要因を分析し、2016年に心理的安全性がその原動力になったとレポートしたのです。

心理的安全性を高めるためにやるべきことは、組織内における日常的なコミュニケーションの量を増やすこと、そして経営側や上司側から一方的に話すのではなく、むしろ彼らが「聞くコミュニケーション」を重視することこそ重要であるとしています。今日本でも、不祥事発生企業に限らず規模を問わぬ多くの企業がGoogleを範として、「心理的安全性向上」の施策に取り組んでいます。具体的には、経営や職務環境に対する社員からの意見を求める提言制度の定着や、トップを含めた役員が職場を回って社員の意見を聞くスモールミーティングの実施など、「誰もが言いたいことを言える=心理的安全性の高い」組織づくりに向けて、その土台固めに動いているのです。

◇



企業にとって不祥事は、一度起きてしまえば信用力失墜など大きな損失を負いかねず、自社の経営をも脅かすこととなります。大手企業の不祥事事例から分かるその危険シグナルは、経営が業績伸展を重視するあまり、厚遇などでの「働きがい」はあっても「働きやすさ」への気配りを忘れ、「言いたいことが言えない」職場になってしまってい

ることなのです。この点に関しては、中堅・中小企業でも同じ視点で経営を省みる必要があるでしょう。自社が今そうなっていないだろうか、経営者は常に自問自答しつつ、社内に目配せをすることが大切です。「働きがいがあり」かつ「働きやすい」企業づくりをめざし、不祥事とは無縁で健全な企業経営を心掛けてほしいと願っています。

特集見たらプラスワン！



埼玉県産業振興公社「コンプライアンス研修(応用編)」申込み受付中

<https://sipc-m.jp/seminar/info.php?id=1130>



コンプライアンス違反は企業経営に深刻なダメージとなります。この研修では、コンプライアンスの基本について振り返りつつ、コンプライアンスの応用編としてリスクマネジメントについて学びながら、自社・自部門で不正を起こさないための方策を考えます。

日時 2025/1/22(水) 13:30～16:30 【ハイブリッド開催】

ソニックシティビル 10階 埼玉県産業振興公社 研修室 または Zoom (オンライン)

内容 ○リスクマネジメントとコンプライアンス

○近年のトピックス

○時代の変化に対応していくには

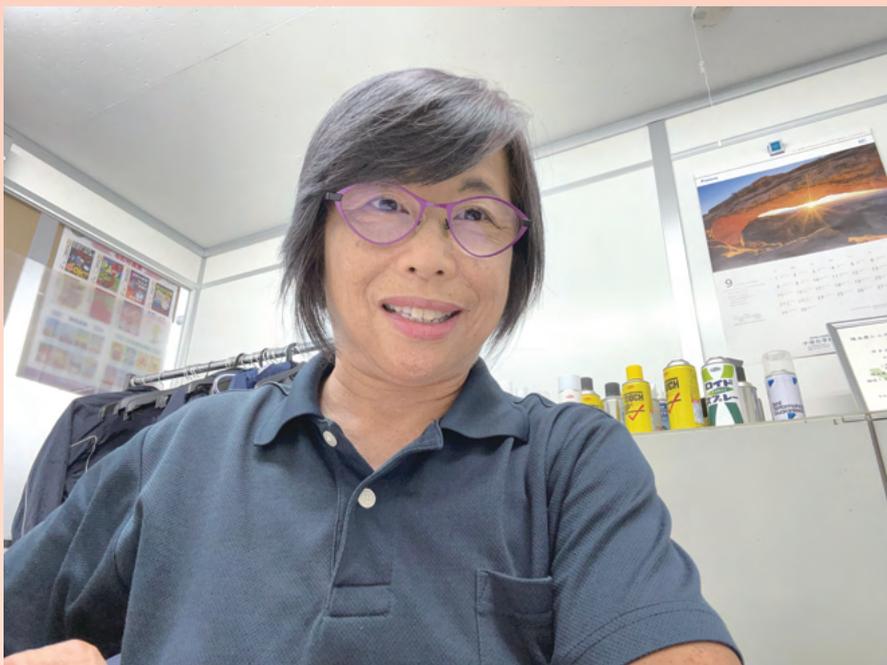
定員 30名 **受講料** 会員 5,500円 一般 7,700円

この他にも豊富なラインアップの研修を用意しています。

人財育成は公社におまかせください！

問合せ先 公社 研修・情報グループ TEL 048-647-4087





ウナテック株式会社



所在地 東松山市新郷88-80
 代表者 代表取締役社長 長島 由佳 氏
 事業内容 エアゾールスプレーの製造
 資本金 9,000万円 従業員数 32名
 TEL 0493-23-6991
<https://www.unatech-inc.co.jp>

「環境に優しい製品、職場環境の改善、人材の確保・育成に注力しています」と話す長島社長

「社員あつての会社、社員は大事な宝物」と話す同社の長島社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

長島 エアゾールスプレーの充填工場です。エアゾールとは、容器の中に噴射剤と内容物を詰め、ボタンを押すとガスの圧力で内容物が霧状に噴出し、密着して乾いた表面がスムーズであることが定義の製品です。ウナテックの親会社が東京のロイド株式会社で、私はその代表も兼務しています。ウナテックは多くの製品をロイドから受託して製造しています。ただ充填工場ですので、ロイドの製品のみならず、さまざまな製品を製造しています。当社の特徴としては、小ロット、多品種、短納期がモットーですので、スプレー 12本(1 ダース)から製造できる会社です。ロイドは創業して64年間、スプレーをつくり続けています。ウナテックは東京の練馬からこの埼玉に移転して29年。ロイドの100%子会社になったのが5年前の2019年です。受注・卸販売はロイド、製造はウナテックという形で、私が社長に就任して10年がたちます。

ウナテックは液充填してスプレーを製造する会社で、中身の液自体はお客様からの支給や、当社で調達しています。色からつくるもの「調色品」はロイドで製造しています。製造の80%がロイドの製品でほぼ塗料です。残りの20%はウナテックが独自のお客様を持っていて、クリーナーや防水スプレー、潤滑油などの一般雑貨をスプレーにしています。エアゾールにできる原料は、何でもスプレーにします。昔から小ロットが得意な会社で、今では12本単位でできる会社も増えてきてはいますが、当社が独占企業でありました。また、即納ができる会社なので、原料や資材があれば次の日に出荷できます。ですから、小ロット、多品種、短納期がロイドとウナテックのモットーです。

■製品について、教えてください。

長島 ロイドの黄色い缶の「タッチアップスプレー」は今では日本の産業界・工業界ではブランド化されていて、「黄色い缶」というだけで、当社ブランドとして商品確立されています。全塗装ではなく補修用のスプレーなので、お客様の工場で塗

小ロット、多品種、短納期が強みの会社



看板商品の「タッチアップスプレー」ラインアップ



環境に優しく、ワイドに塗れる環境対応型塗料「ロイド エコタイプスプレー」は、次世代へ安全と安心を伝える、25色をラインアップ



2液での補修用スプレーを小ロットで提供できる新商品「タッチミキシングキット」(左からボタン、アダプター、硬化剤、主剤、ビニール袋)

装があれば必ず補修があり、塗装後の塗りむらや傷の補修に使われます。タッチアップは補修という意味で、補修用スプレーとしては、当社が先駆者です。製品構造や部品も特許の塊、技術の塊です。缶の中で化学変化が起こる可能性があるため、新製品の場合は半年ぐらい安定性を見ないと出荷ができません。お客様からのさまざまな要望・要求をエアゾール化して、納めています。エアゾールスプレーはCO₂をほとんど排出せず、100%リサイクル。使い勝手が良く環境にも優しい製品です。しかも水性塗料に比べすぐ乾き、利便性があり安いのです。使用後の缶は溶解してリサイクル、さまざまな物の原料として再利用されています。

■リクルーティングについて

長島 年間134日休みがあるワーク・ライフ・バランスの会社で、平均年齢は40歳です。時短営業で実働7時間、残業ゼロ、もちろん賞与も出しますので、大手求人サイトから若い人がたくさん応募してくださり、働いてくれています。皆さんのおかげで会社が成り立っています。

現場の環境を良くするのが私の仕事です。環境の良さは労働基準監督署からお墨付きをいただいています。社員あつての会社ですので、私にとっては大事な宝物ですから、磨かせてもらっています。

■今後の展開・抱負は

長島 当社の品質管理開発部では、こんなものがスプレーにできないかとか、水性のスプレーなど1本から製品化に注力しています。エコタイプや環境に優しい素材のものも取り入れて、研究開発しています。今後原料メーカーが小ロットを製造しなくなるとすると、調色品が増えていくと思いますので、お客様の要望に応じていきたいです。

小回りが利く会社ですので、サンプル品的小ロット、短納期のスプレーは当社にご相談いただければ、ご対応いたします。例えば、潤滑油、旋盤などのクリーナーなど、ありとあらゆることができますので、お客様と共に成長していきたいと思っています。お互いにいろいろなアイデアを出し合いながら共存できる会社でありたいと思っています。

株式会社東部アシード

<http://www.tqc.or.jp>

食の提供を通じて、食生活の向上と豊かな社会の反映に寄与

八潮市新町 1-1
TEL 048-931-9195
資本金 1,092 万円
従業員数 130 名

■事業内容
仕出し弁当等の製造・配達

■埼玉県内の事業所向け給食、八潮市内の学校給食（小中学校15校）、埼玉県および東京都内の私立幼稚園向け給食、行楽弁当、仕出し料理、パーティー料理（ケータリング含む）、総菜、冷凍食品の製造販売など、食に関する幅広い事業を展開しています。

食の提供を通じて、食生活の向上と豊かな社会の反映に寄与することをモットーに、完璧な衛生管理のもと「安全」「安心」「おいしい」を実践し、弁当給食の給食センターとしては、国内最大級の規模を誇ります。



株式会社ハヤカワフォーシング

<http://www.ryoei-metals.co.jp>

“素材”の“新たな価値”で感動を世界に届ける！ 精密鍛造品（ベベルギヤ）製造

桶川市上日出谷 1230
TEL 048-786-1025
資本金 1 億円
従業員数 90 名

■事業内容
精密鍛造品（ベベルギヤ）の製造
鍛造金型の製造販売

■熱間型鍛造方式による、自動車、農業機械、フォークリフト用の差動傘歯車（デファレンシャル・ベベルギヤ）およびスプロケット、クラッチ、一般傘歯車など、耐久性の高い製品を生産しています。ベベルギヤの熱間型鍛造については、長年にわたる豊富な高い技術力を蓄積しています。高強度、高品質、低価格を追求されているお客様のご要望には、精密鍛造技術で対応できます。

 株式会社ハヤカワフォーシング



株式会社日さく

<https://www.nissaku.co.jp>

創業明治45年「水と大地の総合エンジニアリング企業」

さいたま市大宮区桜木町
4-199-3
TEL 048-644-3911
資本金 1 億円
従業員数 295 名

■事業内容

- さく井工事
- 海外事業
- 井戸メンテナンス
- 地下水関連設備工事
- 特殊土木工事
- 地質調査・建設コンサルタント
- 井戸用設備製造・販売

■1912年創業。国内初の機械掘りによるさく井工事にはじまり、110年以上にわたり水源井、温泉井などの掘削工事、井戸メンテナンス、地下水関連設備工事など、地盤や地下水に関わる事業を手掛け、実績を積み重ねてきました。長い歴史の中で培ったノウハウを強みに、伝統的な技術と最新の技術を組み合わせ、グローバルな展開を図り、幸福な社会づくりに寄与しています。これからも社会に価値をもたらす企業として、地域社会へ貢献する取り組みを推進し挑戦し続けます。

2021年に110周年を迎えた



梅田真空包装株式会社

<https://www.uvp.co.jp>

理想の包装を実現するための技術が私たちにはあります

大阪府東大阪市御厨 3-9-28
関東工場：東松山市新郷 568-1
TEL 06-6782-0661
資本金 1,000 万円
従業員数 224 名

■事業内容

パッケージにおける企画・
開発から印刷・加工、発送

■パッケージの企画・開発から成形、印刷、包装の加工に至るまで、生産業務を一貫して行うトータルパッケージメーカーです。化粧品や医療器具、自動車部品など、さまざまな業界のパッケージの企画・開発に携わり、製品化しています。常に多角的な視点からアプローチする発想力・提案力と高品質なモノづくりを行う技術力が強みです。近年では、SDGsの観点からリサイクル資源を活用した素材を積極的に取り扱っています。



印刷合わせ成形



トレイ



紙器



プリスターパック



スライドプリスターパック



グラムシエルパック

日本メルセン株式会社

<https://ep-us.mersen.com>

電力変換装置、蓄電池システム、車両用途向け電気機器のグローバルエキスパート

東京都新宿区西新宿 2-7-1
新宿第一生命ビルディング 14 階
TEL 03-5325-6811
資本金 7,500 万円
従業員数 40 名

■事業内容

- 半導体、バッテリー、
車両の保護ヒューズ
- 水冷ヒートシンク
- ラミネートブスバー
- 雷保護、コンデンサ等
- 電鉄用集電、接地装置
- 上記輸出入および販売事業

■Mersen社は電力および先進材料分野におけるグローバル企業です。33カ国で事業を展開し、50カ所以上の製造拠点、18カ所の研究施設を保有しています。産業界の発展を支えるべく、お客様固有の開発ニーズに対応するソリューション技術を提供しています。120年以上にわたり新しい挑戦に向けた技術革新に取り組んでいます。風力発電、太陽光発電、エレクトロニクス、EV、航空宇宙、その他多くの市場において、革新的な技術開発を継続しています。

MERSEN
Expertise, our source of energy



株式会社オートテックジャパン

<https://www.autotechnic.co.jp>

モビリティ社会を支えるエンジニアリングソリューションカンパニー

首都圏事業部：
朝霞市三原5-9-33
TEL 048-450-3021
資本金 4,000万円
従業員数 2,068名

■事業内容

- 設計
- CAE解析シミュレーション
- 機械加工・試作・車両仕立て
- 単体試験・実機試験
- 分解解析、法規試験、走行試験 ほか

■1982年創業。自動車・自動二輪をはじめ、さまざまなモビリティの研究開発・設計・品質保証をサポートする独立系エンジニアリングサービス企業です。各分野に精通するエンジニア、さまざまな試験設備を組み合わせ、お客様のあらゆるニーズに柔軟に対応することが可能です。モビリティ開発に必要な設計・解析から実車のテストまで、これまでに培ってきた独自の知見と高い技術に基づいて、今とこれからのモビリティ社会の創造に貢献していきます。





■真空装置業界のかけこみ寺

超高真空装置、低温・常温接合装置の開発メーカーとして、長年にわたり培った技術力と品質管理を武器に、業界内で確固たる地位を築いています。顧客の多様なニーズに応える技術力とノウハウから、業界のかけこみ寺と呼ばれています。

■お客様の「したい」をオーダーメイド

お客様の要望に沿ったオーダーメイド品を数多く手掛けて30年以上。ボルト1本から装置まで、お客様の仕様に沿った製品を提供しています。仕様が固まらない段階でも技術的な相談に対応しています。また、脱ガス処理サービスやガス分析サービスも行っています。



常温接合装置 標準実験機

企業から一言

中小ならではのフットワークの軽さで大企業がやらないニッチな装置開発も承っています。超高真空で培った技術力は競合他社と比べても高く、特許も多く取得しています。真空でお困りなら、ぜひお声掛けください。



高真空用CMOSカメラ
バキュームアイ MVE-04TYPE

所在地 さいたま市岩槻区並木 2-10-10
代表者 代表取締役 宮本 和夫 氏
事業内容 超高真空装置の開発製造

資本金 3,000 万円 従業員数 19 名
TEL 048-756-8792 創業 1988 年
<http://www.musashino-eng.co.jp>

第7回 OSって？ Windowsはそもそも何のためにある？

株式会社ワズ・ワン 代表取締役 古澤 登志美

OSとは「Operating System」の略で、パソコンやスマートフォン（スマホ）などの電子デバイスを動作させるために必要なソフトウェアです。OSがあることでユーザーはデバイスを快適に利用することができます。

OSの種類

最も身近で代表的なOSは、Microsoft社が提供するWindowsです。多くのメーカーが自社のパソコンにWindowsを搭載しています。MacOSは、Apple社が製造するMac専用のOSです。その他、Google社が提供するChrome OSや、無料で利用、改変可能なLinuxといったOSもあります。スマホ向けにはGoogle社製のAndroid、Apple社のiOSが広く普及しています。

OSの具体的な役割

①ユーザーとデバイスをつなぐ

OSはユーザーがそのデバイスを起動したときから働き始めます。起動時のパスワード入力、アプリケーションの表示、デバイス利用の設定などは、すべてOSがその機能を提供しています。

また、キーボードから文字を入力する、マウスやタッチディスプレイの操作も、OSがユーザーからの指示を受けて実現しています。

②プラットフォーム機能

かつて使われていたワープロでは、各社が印刷機能まで一体で開発していたため、インクはもちろん、場合によっては用紙までそのワープロ専用のものを使う必要がありました。ユーザーが文書作成機能でA製品を気に入っていても、印刷機能が自分のニーズに合わなければ、その製品を選ぶことはできませんでした。

パソコンやスマホの場合、OSがプラットフォームとなってくれるため、ユーザーは自由にプリンターやアプリケーションを組み合わせる選択することができます。OSがハードウェアとアプリケーションの間を仲介することで、開発者はOSに対応する製品を作製すればよくなり、開発コストの削減と互換性の向上が図られます。このプラットフォーム機

能は、プリンターに限らず、デバイス内部の機器やアプリケーションにも広く適用され、効率的な開発と利用が可能になります。

つまりOSは、ハードウェアとアプリケーションをつなぐものでもあります。



③その他の機能

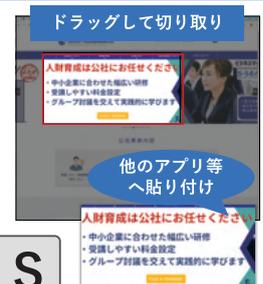
OSは、ファイルシステム管理、ハードウェア管理、プロセス管理など、ユーザーに直接見えない部分でも重要な役割を果たしています。これらの機能により、システムの安定性と効率が保たれており、ユーザーは快適にデバイスを利用することができるのです。

OSのアップデートとは

OSのアップデートは、新しいアプリケーションやハードウェアに対応し、セキュリティ強化やバグ修正を行うために実施されます。開発元は新しいバージョンを継続的に提供し、ネットワークを通じてデバイスに送信します。アップデートには、表示の変化や一部のアプリケーションが正常に動作しなくなるなどのリスクもありますが、デバイスを安全かつ正常に利用するためには不可欠です。

活用したいショートカット

スマホでもよく使われる「スクショ」=スクリーンショット・表示画面のコピーは、ShiftとWindowsのロゴマークキーを押しながらSです。画面の一部をドラッグして指定できます。



Shift + Win + S

第7回 昨日の敵は今日のアイデア

株式会社柿内幸夫技術士事務所 所長 柿内幸夫

お客様は自社の商品に対して、どんなご要望をお持ちなのか？ 正確に把握することはとても大切ですが、簡単ではありません。マーケットは「マーケットイン」から「ユーザーイン」へと変化しています。これまで以上にお客様のご要望を取り入れる必要が出てきます。今回は、そんな変化に対応した現場改善事例をご紹介します。

20年くらい前のことですが、精密切断機を生産しているD社の改善会でのことです。組み立ての様子を見ていたのですが、とても組み立てにくそうでした。組み立てにくいものは修理しにくいものでもあり、お客様の工場で故障したらどうやって直すのだろうと思い、ライバルメーカーの商品はどうなのかとD社の技術者に聞いてみました。すると、皆さんはライバル社の製品のことはあまり知りませんでした。D社の製品は性能面での評判が良く自信を持っていたので、あまり競合製品を気にしていなかったようです。しかし、まずは見てみようということになり、工場にあったカタログでライバル商品の写真を見てみました。すると、われわれが苦労していた手が入らずに組み立てにくいところは形状が違い、組み立てしやすそうでした。このような見方で自社製品とライバル社製品の比較をしているうちに、技術者から「組み立てやすいだけでなく、こちらの製品の方が操作しやすいのではないか」とか、「壊れにくそうだ」「今の時代に合っていて、こちらの方が見た目がいいのではないか」という意見が出てきました。

D社は以前から性能の良さで評価を受けてきたことから、さらに性能を良くするにはどうしたらいいのかを考えていましたが、お客様の使い勝手や見た目のカッコよさを考えるということは、あまりなかったということでした。しかし、それはつくる側からの一方的な見方であって、お客様の方からの見方になっていなかったというような意見になり、みんなで考えてみようということで、その日の改善会は終わりました。

翌月、再度D社を訪れたのですが、そこで私は本当にうれしい驚きのモノを見ることができました。その後、D社の皆さんはお客様視点での議論を続け、使い勝手が大幅に向上する実物大の機械の模型を段ボールでつくっていました。その形は、ライバル製品と比較しても、すべての要件が満たされ、素晴らしいものでした。段ボール製の機械の表面には、たくさんの方が気付いた意見などがフェルトペンやボールペンで書かれていました。「このハンドルはもう少し大きくした方がいい」「現行製品の欠点である計器の見づらさが解消され、作業状態の姿勢から見るができるので素晴らしい！」という感じです。多くの方が自分の目で見て触っての意見であり、具体的な改善に結び付きました。この結果、これまで評判が良かった性能はそのまま、使い勝手や見た目良くなったので、この新設備はヒット商品になりました。

この事例は私にとってとても印象深い改善です。最初から新製品の開発を考えていたのではありません。組み立て作業の改善で、現場現物でワイガヤをしているうちに商品の話になり、それが段ボールの試作へとつながりヒット商品が生まれたという完全にボトムアップ型で全員参加の開発ストーリーだからです。そして、段ボールを使って短時間で形を作り上げるスピード感は皆さんの考えるスピードの速さを表しています。現場でのワイガヤは大切です。「昨日の敵は今日のアイデア！」ドンドン改善して現状を変えていきましょう。





「もったいない」を見ては「サーキュラーエコノミー(CE)」を思う

<https://www.saitama-j.or.jp/junkan>



サーキュラーエコノミー推進センター埼玉のコーディネーターの谷口仁です。今月は当センターで支援中の事例について、ご紹介します。

■事例紹介 1

1件目は、酒製造業の方から酒粕さけかすを活用したいという、ご相談をいただいたものです。埼玉県よろず支援拠点から当センターをご紹介いただきました。

【食品副産物の有効活用】

1. 活用方法の検討

同社では、通常、酒粕※1を有価物として取引していますが、発生状況や保管状況によっては焼却処理せざるを得ないことが課題となっていました。同社と有効活用の方法を議論し、リサイクラーとのマッチングにより堆肥として有効活用することになりました。

2. 今後の取り組み予定

今後は、地元の農業生産者にその堆肥を使っていただき、そでつくられた農作物を同社で活用することを目指しています。地域で循環する仕組みをつくることで、地域振興も期待できると考えています。

■事例紹介 2

2件目は、塗装業の方から塗料の残りを活用したいというご相談をいただいたものです。金融機関から当センターをご紹介いただきました。

【余剰塗料の有効活用】

1. 活用方法の検討

同社はSDGsに積極的に取り組む企業で、余剰塗料のリユースやリサイクルに取り組んでいま

すが、リサイクルコストの低減やさらなる有効活用が課題となっていました。同社と一緒にになってさまざまなリユースの方策や新たなリサイクル技術を調査・検討したほか、懇意にしているメーカーや商社に相談を持ち掛けました。その結果、塗料の特性を生かしたアップサイクル※3に挑戦することになりました。

2. 今後の取り組み予定

今後は、県内の企業や大学・研究機関などとの連携を図り、余剰塗料を活用した新たな製品開発を進める予定です。

■CEは身近にある！

今回の事例に関する共通点は、廃棄していた未利用資源を「もったいない」と感じ、有効活用したいと思い立った企業です。このように、「もったいない」を目の前にして、有効活用できないか、あるいは商売にならないかと思えば、ぜひ当センターまでご連絡ください。

また、金融機関や支援機関の皆様からのご紹介もお待ちしています。

問合せ先 サークュラーエコノミー推進センター埼玉

TEL 048-711-9906

※1 有価物とは、廃棄物ではないもの。国の通知では有価物か廃棄物かは、物の性状、排出の状況、通常取り扱い形態、引取価値の有無および占有者の意思等を勘案して総合的に判断するとされている。

※2 リサイクラーとは、再資源化事業者のこと。

※3 アップサイクルとは、価値を高めたリサイクルのこと。

広告



まっすぐ、あなたへ。
埼玉縣信用金庫

本部 熊谷市久下4丁目141番地
048(526)1111



これだけは知りたい！ 税金の知識 Q&A

税理士・行政書士
元 文京学院大学講師 野口邦雄

Q 交際費等の損金不算入制度の見直し

交際費等の損金不算入制度の見直しが行われたことについて、教えてください。

A 交際費から除外される飲食費に係る見直し

交際費等は損金不算入とされていますが、平成18年度税制改正により、会議費相当とされる1人5,000円以下の飲食費は交際費等の範囲から除外され、全額損金算入されています。この5,000円以下とされている飲食費の金額基準について、会議費の実態等を踏まえ、10,000円以下まで引き上げます。

このほか、接待飲食費に係る損金算入の特例および中小法人に係る損金算入の特例の適用期限を3年延長します。

交際費課税の特例について

【適用期限：2026年度末（2027年3月31日）まで】

法人が支出した交際費等は、原則として、損金の額に算入しないこととされていますが、中小法人は、①800万円までの交際費等の全額損金算入、②接待飲食費の50%の損金算入（注）の選択適用が認められています（適用期間は令和6年3月31日までに開始した事業年度です）。

注：接待飲食費の50%の損金算入の適用は中小法人以外の法人（事業年度終了日における資本金の額等が100億円以下の法人に限る）にも認められています。

制度の概要 交際費等とは

交際費等とは、交際費、接待費などの費用で、その法人の得意先、仕入れ先など事業の関係者への接待、供給、慰安、贈答などの行為のために支出するものをいいます。

また、接待飲食費とは、交際費等飲食その他これに類する行為のために要する費用のことをいいます。

交際費等から除外される飲食費の基準

社外のひととの飲食等で1人当たり1万円以下の飲食費は交際費等の範囲から除かれています。

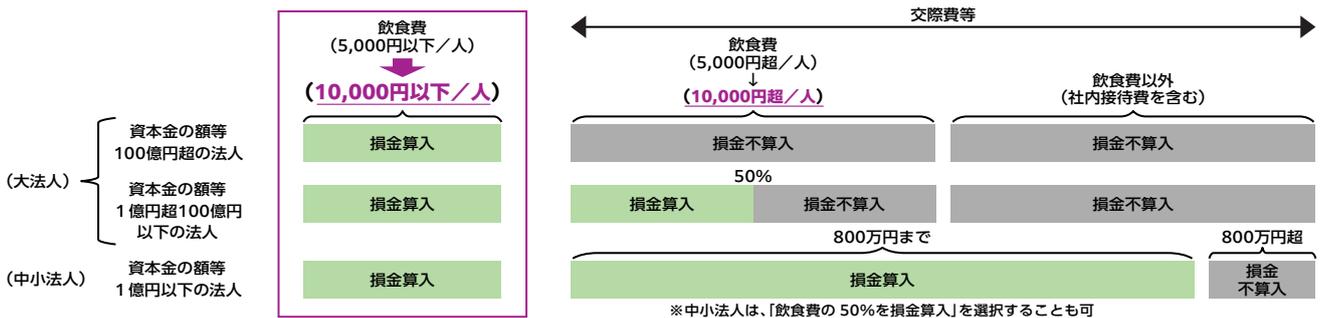
※令和6年度税制改正において、5,000円から10,000円に引き上げ。

ただし、飲食等のあった年月日、参加した者等の氏名・名称や関係、参加した者の数、飲食等に要した費用の額、飲食店の名前と所在地、その他飲食費であることを明らかにするために必要な事項を記載した書類を保存する必要があります。

注：1万円を超えた支出の場合は、超えた部分だけが交際の範囲から除外されるのではなく、1万円を超えた費用全額が交際費等に該当します。

適用手続き

法人税の確定申告書に別表15（交際費等の損金算入に関する明細書）を添付すること。



広告

火災だけでなく4つのプラン
新総合火災共済

※ものときも安心!

幅広い補償で建物、家財、おまひ動産をサポート

安心をつなげて繋ぐ助け合い
総合火災共済
普通火災共済

自動車総合共済
MAP
Mutual Automobile Policy

埼玉県認可
埼玉県火災共済協同組合

さいたま市大宮区桜木町1-7-5(ソニックシティビル7階)
Tel: 048-641-9203(代) Fax: 048-645-6984

■運輸業者の取り組み事例

旅客輸送・貨物輸送・土木工事を行う運輸業者はアナログ業務が多く、事務作業量が多いことに悩まされていました。そこで紙ベースの事務作業をデジタル化。事務の作業量が10%削減されました。また、かつては担当者が外出していると社内の連携や意思決定が遅れることもありましたが、チャットツールの導入により、社内のコミュニケーションが円滑になり、社員間での連携の機会が促進されました。

DXに取り組むに当たってDX戦略を定め、社員2名を中心メンバーに据えました。月4日はスキル習得に充てるなどデジタル人材の育成を行いました。



■製造業者の取り組み事例

一点物から量産品まで、多品種を取り扱う金属加工業者は、注文の管理が複雑になり、既存のシステムでは対応しきれなくなっていました。加えて、製造工程は個々の職人任せになっており、いかにして金属加工技術を継承するか悩んでいました。

そこで、受注から生産工程までを一括して管理できるシステムをシステム会社と3年をかけて共同開発。営業部が注文内容をシステムに入力し、製造部が注文データを見ながら作業します。不良品が生じた際の作業内容を記録できるようになっており、今まで職人の頭の中にしかなかったノウハウが共有されるようになりました。

■医療、福祉業者の取り組み事例

訪問介護を行う企業。利用者の自宅に訪問し、介護サービスを行うスタッフにとって、事務所に戻って行う事務作業や打ち合わせが大きな負担になっていました。そこで国のテレワーク推進補助金を利用してノートPCを全社員に配布し、テレワークを開始。打ち合わせはすべてオンラインで実施することにしました。さらに、介護職に義務付けられた研修をオンラインで受講するシステムを導入して、柔軟な働き方ができる環境を整えました。これらの取り組みにより、年間360時間を超えることもあった残業時間は大きく改善。職員に余力が生まれ、売り上げも増加しました。



埼玉県DX推進支援ネットワークのホームページでは、さまざまな業種のデジタル化・DXの取り組みを掲載しています。

また相談窓口では、ITの知識を持つDXコンシェルジュが貴社のデジタル化・DX推進をお手伝いします。お気軽にお問い合わせください。

その他の取り組み事例は

埼玉県DX推進支援ネットワーク →



SNSにてDX支援策や取り組み事例を発信中 Instagram →



問合せ先

埼玉県DX推進支援ネットワーク

TEL 048-621-7051

広告

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために



武蔵野銀行

公社情報 **【Web配信】会員優待セミナー**
 すぐに使える！企業の成長につなげる
 人材育成の進め方
<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/24kuc>



企業の人材育成の実践について、専門家が分かりやすく解説します。人への投資に関する知識やノウハウのインプットを通じて、自社の人材育成に活用いただくことを目的としています。

日時 10/18(金)13:30~15:30 ZoomによるWeb配信

内容 ・人材育成における現状と課題
 ・研修の計画から実施までの流れ
 ・研修を企画しよう！

講師 ビズハウス(株) 代表取締役 迫 大輔 氏

定員 50名 **費用** 会員無料 一般2,100円

問合せ先 公社 研修・情報グループ

TEL 048-647-4087

公社情報 **【Web配信】会員優待セミナー**
 資本性劣後ローンの紹介と融資時に
 銀行が着目する決算書のポイント解説
<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/24kud>



コロナ禍で行われたゼロゼロ融資。その救済策として設けられた「資本性劣後ローン」について解説します。また、銀行の評価を上げる具体策を解説し、融資を受けやすくなる決算書のポイントを学びます。

日時 10/30(水)14:00~16:30 ZoomによるWeb配信

内容 ・ゼロゼロ融資を返せない会社が急増！？
 ・資本性劣後ローンとは 他

講師 創業・ベンチャー支援センター埼玉

開業アドバイザー 望月 由美子 氏

定員 50名 **費用** 会員無料 一般2,100円

問合せ先 公社 研修・情報グループ

TEL 048-647-4087

県の情報 **「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」**
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/logistics-support.html>



2024年4月からドライバーの時間外労働時間の上限が年960時間となり、働き方改革が進む一方、物流業界における人手不足が喫緊の課題となっています。

そこで、令和6年9月3日(火)に、国、県、物流業界団体、物流事業者、消費者団体など合わせて23者により「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言式」を知事公館で実施しました。

共同宣言を行うに至った経緯

令和6年4月1日から運輸業などに時間外労働の上限規制が適用され、何も対策を講じなければ輸送能力が不足し「モノが運べなくなる」可能性が懸念されるなど、物流を取り巻く環境は危機的状況となっています。

物流は県民生活を支える重要な社会インフラであり、持続可能な物流体制を構築していくことは、物流業界だけの課題にとどまらず、本県経済や県民生活に直結する重要な課題であり、その解決のためには物流事業者だけでなく、荷主や消費者、関係団体等が連携し、商慣行の見直しや物流業務の効率化、荷主と消費者の行動変容に向けて、社会全体で取り組んでいく必要があります。

そこで、「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」の下に設置された「人手不足対策分科会」において、「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」

を、戦略会議メンバーに加え、物流業界団体や物流事業者、消費者団体など23団体で実施することについて案として取りまとめ、令和6年9月3日に共同宣言を実施したものです。

同宣言は、①物流の円滑化に向けた取り組み、②物流業界の人材確保・定着に向けた取り組み、③再配達の削減徹底に向けた取り組みの3項目について連携を行うものです。①では商慣行の見直しや物流の効率化を図り、「ホワイト物流自主行動宣言」を推進します。②では法令順守と労働環境の改善、業界の魅力発信、多様な人材の活用とマッチングを行います。③では置き配や宅配ボックスなどの利用、1回の配達で確実に受け渡しできる日時、場所の選択の呼びかけを行います。

人手不足を克服し、持続可能な物流体制の構築できるよう、関係者が一丸となって取り組んでまいります。



令和6年9月3日(火) 埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言式

問合せ先 埼玉県産業労働部 産業労働政策課

TEL 048-830-3702

株式会社彩令 (さいれい聖苑)

鈴木 由美子 さん

創業のきっかけは？

長年勤めた葬儀会社を退職し、体調不良で静養中のさなか、突然迎えた母親の介護、そして死。葬儀会社で「突然です、慌てます」と案内していたことが突然自分自身に降り掛かり、何もできず、記憶が曖昧なまま母の葬儀を終えました。その経験から同じ悩みを持つ人の、やり直しのきかない「人生最期の時」「後悔のないお見送り」そして「葬儀後のケア」のお手伝いをしたいと強く思い、創業を決意しました。

事業内容は？

コロナ禍の2021年5月に、神川町で地域に根差した葬祭場を実現するべく「さいれい聖苑」を開業しました。故人様の搬送、葬儀供花、各種葬祭儀礼の手配・対応など葬儀請負業務を行っています。「人と人とは縁、出会いは奇跡、別れは宿命」を理念に、別れの悲しみの中、葬儀のためのお金、時間といった現実と直面する遺族の不安な気持ちに寄り添い、故人と過ごす最期の時をそっとお手伝いしています。厚生労働省認定の葬祭ディレクター技能審査を取得した葬祭ディレクターが対応します。

今後の展開・夢は？

2028年までに対応可能地域を広げ、新エリアでのホール運営や、霊園誘致、霊園運営管理を目指しています。同時に次世代継承に向けたスタッフの育成が目標です。最終的には自社の新ホールを立ち上げ次世代へと継承していきたいと考えています。



鈴木 由美子 (すずき ゆみこ) さん (57)

1967年埼玉県生まれ。葬儀会社に就職し15年、やりがいを感じ始めた頃、体調を崩し退職。その後、間もなくして母親の介護、死に直面し、記憶が曖昧なまま葬儀を終える。「後悔のないお見送り」のお手伝いをしたいとの思いから創業を決意。

株式会社 彩令 (さいれい聖苑) <https://sairei.net>
 児玉郡神川町植竹647-1
 創業 2021年5月 従業員数 2名
 TEL 0495-77-7310
 事業内容 斎場「さいれい聖苑」の運営



JR八高線丹荘駅から徒歩9分 定休日:年中無休
 相談は24時間対応
 対応可能地域:児玉郡市、深谷市、熊谷市、群馬県など



お客様の要望に合わせて、予算に応じたプランを提案
 無料の事前相談も可能

広告

労務プロセスの最適化をワンストップでトータルサポート

打刻

出退勤打刻

管理

勤怠集計処理

給与計算

データ移行・給与計算

照会・閲覧

PC・スマホ照会

株式会社 日東テクノブレーン

〒359-1144 埼玉県所沢市西所沢1-14-14
 0120-977-837 <http://www.nitto-tech.co.jp>





全国に先駆けて蔵元直営の居酒屋を運営

慶応元年(1865年)、湧き水や井戸などの水源が豊富であった埼玉県東部に位置する現在の蓮田市で創業。長い歴史を持つ同蔵だが、昭和30年には大きな転換期を迎えた。それまでの卸売業者や小売店への販売を取りやめ、全国に先駆けて、直営の居酒屋運営に乗り出した。これは「自分たちでつくったお酒を直接お客様に飲んでもらって味を楽しんでもらいたい」という先代(3代目)の強い思いがあったからである。池袋の1号店を皮切りに、神田店や高田馬場店など手線沿線を中心に12店舗の直営店を運営している。「毎日多くのお客様にご来店いただき、お酒の味や香りについていただく生の声を酒づくりに生かしています」と語る岩崎社長。代表銘柄は「清龍」。大吟醸・純米酒・原酒・冬季限定の生酒などバリエーションが豊富。そのほか、本格米焼酎やリキュールなども幅広く手掛けている。



一度に最大150人が参加する人気の蔵元見学ツアーの様子

蔵元見学ツアーはリピーターも多い人気のイベント

蔵元見学ツアー(有償)では、参加者のお目当ての一つである「唎酒」が楽しめる。大吟醸酒や純米酒など人気のお酒7種類を飲み比べられるほか、お酒に合う季節の料理を味わいながら、プロのミュージシャンによる歌と演奏が聞ける人気のイベント。「大吟醸」は、好適米として最高の山田錦を使用し、約40日かけて仕込む。この期間は、職人が蔵で寝起きするなど一日中つきっきりで管理するため生産量は限られるが、繊細でフルーティーな香りが楽しめるお酒に仕上がっている。また純米酒は、いつまでも飲み飽きないうまい味のある「純米辛口【伝】」と、辛口の限界と酒の深い味わいのあるキレを求めた「純米大辛口【伝】」などがあり、厳選した酵母で低温発酵して熟成することで、ふくよかなうまい味がしっかりしていることから、お燗から冷や、オンザロック、お湯割りなど、いろいろと楽しめる。「自信作」は、大吟醸と純米酒の大辛口を岩崎社長のこだわりでブレンドしたもので、このような楽しみ方もできるという一つの提案として販売している。蔵元見学ツアーの情報や予約については、WEBサイトやYouTubeの「清龍チャンネル」を確認してほしい。



「販売している日本酒は味が調っている、そのまま飲むのもいいのですが、趣の違う清酒を好きな分量でブレンドしたり、炭酸やいろいろなフレーバーで割ったりと、自分好みの味を探索するのも楽しみの一つです」と4代目の岩崎社長

清龍酒造株式会社

<https://www.seiryu-syuzou.co.jp>

蓮田の間戸659-3 Tel 048-768-2025
 代表者 代表取締役社長 岩崎 清氏
 創業 1865年 資本金 4,600万円 従業員数 20名
 事業内容 酒類製造・販売(清酒・本格米焼酎・リキュール・スピリッツ)、米の販売
 購入方法 直売(営業時間9:00~18:00、年中無休)
 ※オンラインショップ
<https://www.seiryu-syuzou.co.jp/syuzou/net/shop.html>



大吟醸 (繊細でフルーティーな香りが楽しめる一品)



自信作 (洗礼された香り、軽快なキレのあるお酒でやや辛口)

● 一般社団法人埼玉県物産観光協会の紹介

一般社団法人埼玉県物産観光協会は、日々新しく生まれる魅力的な県産品や生産者の思いを『SAITAMA BRAND』として発信し、多くの皆様にご覧いただきたく、「埼玉県新商品 AWARD」を立ち上げました。埼玉県の生産者が技術と伝統、土地の恵みを生かして開発した素晴らしい商品をご覧ください。
<https://chocotabi-saitama.jp/award>



● 読者プレゼント実施中!

清龍酒造の「大吟醸720ml」と「自信作720ml」をセットで1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、清龍酒造のお酒希望」を記載の上、so-dan@saitama-j.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの専用QRコードから、10月24日(木)までに、ご応募ください。当選者の発表および当選商品は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



製造業
を
応援

PRと採用を支援する

映像制作



売上げ
UPや、

コストの
削減、

人材
採用など

ご相談
ください

動画で
サポート
します！

「埼玉 映像制作」GoogleクチコミNo.1

☎048-762-7907

株式会社チェリービー

🔍 チェリービー

カビの発生を遅らせる防カビフィルムを採用 特許第7178106号

防カビバッグ Go Block

衣類 靴 生活用品

カビの発生を抑制する機能性フィルムを使用した保存バッグ（10枚入）です。
40×47cmの大きめサイズで衣類や靴、生活用品などの整理収納に活躍します。



大きさ

40cm

ジッパー下
47cm

アマゾン、楽天市場で販売中

⚠️ 食品と食器類には使用できません。



アマゾン

楽天市場

山進社印刷株式会社

〒367-0073 埼玉県本庄市都島 570-43

TEL.0495-24-2451 FAX.0495-21-8853

Sansinsya

金融+で、未来をプラスに。 RESONA GROUP

ビジネスプラザ さいたまの 創業支援

創業から業容拡大まで “こまりごと”を解決します

- 起業検討段階から起業後の方まで課題解決をお手伝いします
- 金融面のアドバイスだけでなく、セミナー開催等により、创业者の皆さまが抱える課題の解決をお手伝いします
- 公的支援機関や外部専門機関と連携し、皆さま個々の課題にも解決策をご提供します
- 創業者同士のビジネスマッチングや交流会などを通じて、事業成功に向けた起業前後の様々なお悩みにソリューションを提供します

- 販路拡大
- 体制整備
- 資金管理・資金調達
- 事業計画
- 専門家とのネットワーク
- 経営相談
- IPO(新規上場株式)



～創業支援デスクを設置いたしました～

事業計画や資金調達、販路拡大など創業から業容の拡大までサポートはもちろんのこと、その先にあるIPOにいたるまで、企業の成長をどこまでもしっかり応援致します。

口座開設の際は、ぜひ埼玉りそな銀行をご利用下さい

お客様の“こまりごと”を解決するお手伝い!



RESONA

ビジネスプラザ さいたま

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 4-262-16 (マルキュービル)
さいたま新都心支店 3階 TEL: 048-851-3232 FAX: 048-601-3455
(営業時間 平日 / 9:00 - 17:00 定休日 土日祝日の他、銀行休業日)

<https://www.saitamaresona.co.jp/bps/>



JR 高崎線・宇都宮線・京浜東北線
「さいたま新都心駅」東口徒歩3分
※お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

 **埼玉りそな銀行**
RESONA